

ハトムギ CRD SD粉末

製造工程



原材料表示

ハトムギエキス末

摂取目安量

一日当たり 1,000 ~ 4,000mg

用途

栄養補助食品

保存方法

直射日光を避けて、冷暗所保管

荷姿

10kg、1kg

賞味期限

開封前 1年6ヶ月(暫定)

規格

項目	規格	試験方法
外観	標準品と有意差のないこと	目視試験(標準品との比較)
風味(1%水溶液にて判定)	標準品と有意差のないこと	官能試験(標準品との比較)
水分	6%以下	常圧加熱乾燥法
pH(10%水溶液にて測定)	5.3±0.5	電極 pHメーター
一般生菌数	3,000個/g以下	標準寒天培地法
大腸菌群	陰性	BGLB培地
重金属	20ppm以下	硫化ナトリウム比色法
ヒ素	2ppm以下	DDTC-Ag吸光光度法

ハトムギCRD SD粉末

高機能な健康・美容素材



● 新商品開発や商品リニューアルをお考えのお客様へOEM供給も承ります。
お気軽にご相談下さい。

■ このパンフレットは、原料販売の業務用資料で、一般に販売される製品宣伝等にデータ使用は出来ませんのでご注意ください。



株式会社 エル・エス コーポレーション
■ 本店
〒103-0012 東京都中央区日本橋蛸屋町2-6-6

■ 営業部
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-10-1-3F
TEL.03(3682)7941 FAX.03(3682)7495
http://www.is-corporation.co.jp/
e-mail: request@is-corporation.co.jp

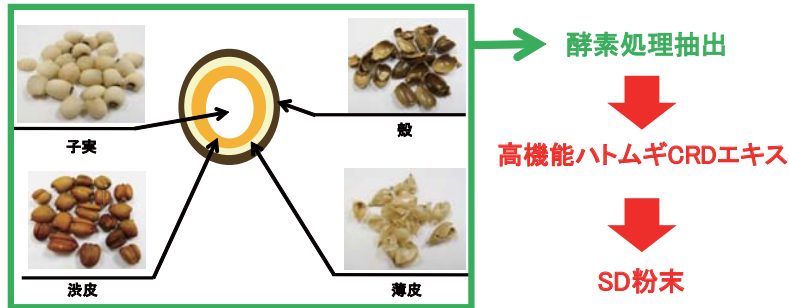


株式会社 エル・エス コーポレーション

ハトムギCRD SD 粉末とは？

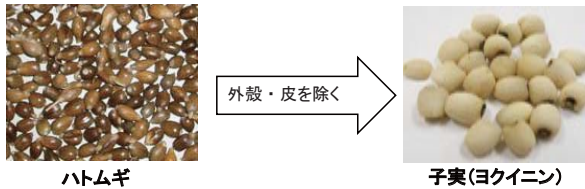
「ハトムギ CRD SD 粉末」とは、国産ハトムギの外殻、薄皮、洗皮、子実を酵素処理し、抽出した成分を粉末にしたものです。CRDとは、Coix-seed Reactive Derivativesを意味します。

ハトムギの構造（断面イメージ）



ハトムギCRDエキスの特許(特許第3590042号)腫瘍またはヒト乳頭腫ウイルス性疾患の予防剤または治療剤

ハトムギとヨクイニン



「ヨクイニン」は、ハトムギの皮を除いた実で、古くからお肌のために用いられてきた生薬です。

ヒト皮膚線維芽細胞によるハトムギ CRD エキスの機能性評価

ハトムギCRDエキスの投与により、線維芽細胞の賦活作用およびコラーゲン産生能が認められました。

第15回 日本補完代替医療学会学術集会（2012年）発表

ハトムギCRDエキスと女性のQOLに関する二重盲検臨床研究

図1 皮膚の色素沈着度

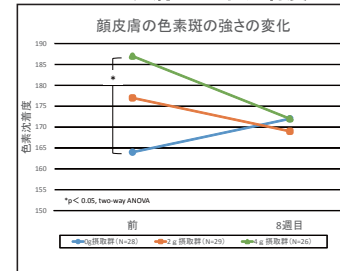
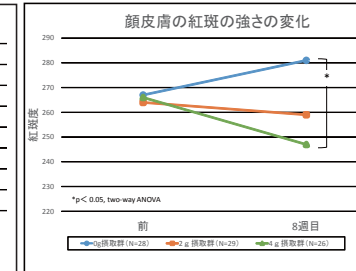


図2 皮膚の紅斑度



二重盲検法により以下の結果が得られた

- ハトムギCRDエキス摂取群では、身体機能や体痛に関わるQOLが前値と比較して有意に改善した。
- 顔、四肢、冷えに関わるQOL、総合的QOLにおいても2週目から8週目まで、前値と比較して有意に改善した。
- 皮膚の色素沈着と紅斑のスコアも、対照群と比較して有意に減少した。(図1、図2)
- 安全性には特に問題は認めなかった。むしろ4g摂取群で2例の妊娠をみたことは、妊娠を促す作用が推定される。ただし、今後の検討が必要である。

※対象：肌荒れ又は皮膚色素斑を有する女性90名

※項目：①身長、体重、BMI ②QOL調査 ③皮膚色素斑 ④摂取コンプライアンス

第14回 日本補完代替医療学会学術集会（2011年）発表

ハトムギ各部分の PBL に対する Cytotoxicity Test (ハトムギ各部分の抗ウイルス・抗腫瘍活性)

	ハトムギ各部	cytotoxicity (%) (mean ± SD)
1	ヨクイニン(子実)	4.5 ± 0.5
2	殻のみ	5.2 ± 1.0
3	ヨクイニン(洗皮つき)	14.0 ± 9.9
4	洗皮のみ	44.8 ± 7.8
5	薄皮のみ	73.8 ± 7.0
6	ハトムギ(外殻・薄皮・子実)	76.8 ± 5.2
7	生理食塩水のみ(対照群)	7.3 ± 1.8

ハトムギはヨクイニンよりも、抗ウイルス・抗腫瘍活性が高いことが明らかになりました。

※1～6のハトムギ各部の熱水抽出物 50mg/ml とし、その 25 μl を Peripheral Blood Lymphocyte (PBL) に添加し、1時間後の cytotoxicity。